

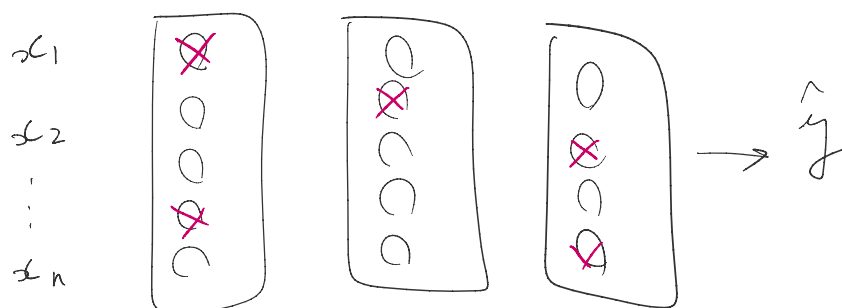
正則化が強い時
(λ が大きい時)



λ が小さい時.

← 後で
フットノット

Drop out



トレーニング時のみ行い.
テスト時はドロップアウト
しない.

20%の確率でノードを残す
例
20%のノードのWを0にする.

$$z^l = w^l \cdot \underbrace{a^{l-1}}_{\text{これを20\%にゼロにする}} + b^l$$

$$a^l = z^l / 0.8 \leftarrow \text{戻す}$$

ランダムに重みが消えるため, コストJが予測しづらくなる.

Early Stopping

Early Stopping

